



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 クロスキャット

コード番号 2307 URL <http://www.xcat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 牛島 豊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 三嶋 峰雄

TEL 03-3474-5251

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	3,402	△8.7	34	8.4	36	△3.5	89	2,655.1
22年3月期第2四半期	3,726	△1.1	31	△26.9	37	△8.1	3	△79.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	9.93	—
22年3月期第2四半期	0.36	0.36

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	3,046	1,596	1,596	1,587	52.4	177.89
22年3月期	3,395	1,587	1,587	1,587	46.7	176.74

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 1,596百万円 22年3月期 1,587百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,170	△5.0	250	31.2	280	37.2	200	147.7	22.28

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.2「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 9,210,960株 22年3月期 9,210,960株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 233,791株 22年3月期 231,813株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 8,978,310株 22年3月期2Q 8,959,147株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 追加情報	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や緊急経済対策等の効果により景気回復の兆しが見られましたが、急速な円高による先行き不透明感、依然として厳しい雇用情勢への不安等を背景に、引き続き厳しい状況が続きました。

情報サービス産業においては、顧客のIT投資の延期、見直し傾向とコスト削減要請で厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、業容の拡大と業績の確保を目指し、新規顧客の開拓と既存顧客へのきめ細かい提案活動を展開しましたが、顧客のシステム投資への慎重姿勢が強まったこともあり、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高3,402百万円（前年同期比8.7%減）、営業利益34百万円（前年同期比8.4%増）、経常利益36百万円（前年同期比3.5%減）、また四半期純利益は受取保険金の特別利益を計上したことにより89百万円（前年同期比2655.1%増）となりました。

各事業分野の状況は次のとおりです。

システムソリューション事業におきましては、顧客のシステム投資抑制の影響を受け、売上高3,271百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

スタッフサービス事業におきましては、子会社の一般派遣事業からの撤退の影響により、売上高131百万円（前年同期比58.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金の減少等により前連結会計年度末に比べ349百万円減少し、3,046百万円となりました。

また、当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ9百万円増加し、1,596百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末に比べ5.7ポイント上昇し、52.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して192百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末残高は603百万円となりました。

当2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、81百万円（前年同期比28.3%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益176百万円及び売上債権の減少265百万円による資金の増加があったことに対し、たな卸資産の増加138百万円、仕入債務の減少92百万円、法人税等の支払80百万円等の資金減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、47百万円（前年同期は使用した資金9百万円）となりました。これは主に、保険積立金の払戻しによる収入83百万円及び、敷金の回収による収入14百万円があったことに対し、パソコン等の開発設備等の取得による支出31百万円、ソフトウェア等の無形固定資産の取得による支出14百万円等の資金減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、322百万円（前年同期比23.9%減）となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出250百万円、配当金の支払額71百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の通期業績予想につきましては、平成22年11月5日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて当初予想からの修正を発表しております。

平成22年5月14日付「平成22年3月期 決算短信」で発表しました通期の業績予想との差異は以下のとおりです。(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,170	百万円 250	百万円 280	百万円 120	円 銭 13.36
今回修正予想 (B)	7,170	250	280	200	22.28
増減額 (B - A)	0	0	0	80	—
増減率 (%)	0.0	0.0	0.0	66.7	—
前期実績	7,549	190	204	80	9.00

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

平成22年9月30日付けにて当社の100%連結子会社であります株式会社クロススタッフの全事業を休止しております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 会計処理基準に関する事項の変更

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより税金等調整前四半期純利益が15百万円減少しております。また、当会計基準の適用開始による資産除去債務の変動額は35百万円であります。

② 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	603,414	796,227
受取手形及び売掛金	1,232,352	1,497,614
仕掛品	399,846	261,659
その他	147,040	142,607
貸倒引当金	△1,080	△1,488
流動資産合計	2,381,572	2,696,620
固定資産		
有形固定資産	182,888	155,536
無形固定資産	64,085	43,082
投資その他の資産		
投資有価証券	111,239	120,519
繰延税金資産	144,171	165,705
その他	163,318	215,481
貸倒引当金	△1,088	△1,088
投資その他の資産合計	417,640	500,617
固定資産合計	664,614	699,236
資産合計	3,046,187	3,395,856
負債の部		
流動負債		
買掛金	236,735	329,497
短期借入金	270,000	520,000
未払法人税等	73,331	87,621
賞与引当金	193,880	185,026
受注損失引当金	4,000	2,000
その他	243,024	274,400
流動負債合計	1,020,971	1,398,546
固定負債		
長期未払金	60,079	—
退職給付引当金	332,835	315,104
役員退職慰労引当金	—	95,200
資産除去債務	35,344	—
固定負債合計	428,260	410,304
負債合計	1,449,231	1,808,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	459,237	459,237
資本剰余金	61,191	61,191
利益剰余金	1,140,520	1,123,236
自己株式	△63,196	△62,854
株主資本合計	1,597,752	1,580,809
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△796	6,195
評価・換算差額等合計	△796	6,195
純資産合計	1,596,955	1,587,005
負債純資産合計	3,046,187	3,395,856

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	3,726,379	3,402,807
売上原価	3,109,921	2,794,638
売上総利益	616,457	608,168
販売費及び一般管理費	584,505	573,544
営業利益	31,951	34,624
営業外収益		
受取利息	133	153
受取配当金	1,879	2,203
受取手数料	782	732
保険配当金	3,927	155
その他	2,714	764
営業外収益合計	9,437	4,010
営業外費用		
支払利息	3,770	2,321
営業外費用合計	3,770	2,321
経常利益	37,618	36,313
特別利益		
貸倒引当金戻入額	652	411
固定資産売却益	461	1,611
投資有価証券売却益	—	0
会員権売却益	—	966
受取保険金	—	159,843
特別利益合計	1,113	162,831
特別損失		
固定資産除却損	1,275	8,088
投資有価証券評価損	—	28
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	14,435
特別損失合計	1,275	22,552
税金等調整前四半期純利益	37,456	176,593
法人税、住民税及び事業税	38,895	66,046
法人税等調整額	△4,673	21,430
法人税等合計	34,221	87,476
少数株主損益調整前四半期純利益	—	89,116
四半期純利益	3,234	89,116

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	37,456	176,593
減価償却費	30,277	32,306
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△470	△408
賞与引当金の増減額(△は減少)	13,891	8,853
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	2,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,603	17,730
投資有価証券評価損益(△は益)	—	28
受取利息及び受取配当金	△2,013	△2,357
支払利息	3,770	2,321
固定資産除却損	1,275	8,088
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	14,435
有形固定資産売却損益(△は益)	△652	△1,611
売上債権の増減額(△は増加)	333,997	265,261
たな卸資産の増減額(△は増加)	△112,914	△138,186
仕入債務の増減額(△は減少)	△56,505	△92,762
受取保険金	—	△159,843
その他	△28,618	△91,361
小計	225,099	41,090
利息及び配当金の受取額	2,013	2,357
利息の支払額	△3,440	△2,126
保険金の受取額	—	120,357
法人税等の支払額	△109,900	△80,051
営業活動によるキャッシュ・フロー	113,772	81,627
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,829	△31,376
有形固定資産の売却による収入	2,904	2,695
投資有価証券の取得による支出	△2,296	△2,540
無形固定資産の取得による支出	△2,775	△14,255
保険積立金の払戻による収入	—	83,439
敷金及び保証金の差入による支出	△3,791	△2,551
敷金及び保証金の回収による収入	17,463	14,274
その他	—	△1,950
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,324	47,733
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△360,000	△250,000
株式の発行による収入	8,234	—
自己株式の取得による支出	—	△341
配当金の支払額	△71,465	△71,833
財務活動によるキャッシュ・フロー	△423,231	△322,174
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△318,783	△192,813
現金及び現金同等物の期首残高	964,251	796,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	645,467	603,414

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 追加情報

(子会社の解散)

当社の特定子会社である株式会社クロススタッフは、平成22年10月29日開催の臨時株主総会において解散の決議を行いました。

(1) 解散する子会社の概要

- | | |
|----------|--------------------------|
| ① 名称 | 株式会社クロススタッフ (当社の100%子会社) |
| ② 住所 | 東京都品川区東品川一丁目2番5号 |
| ③ 代表者の氏名 | 田代 憲利 |
| ④ 資本金 | 50百万円 |
| ⑤ 事業の内容 | IT人材派遣及びアウトソーシング事業 |

(2) 日 程 (子会社)

臨時株主総会 (解散決議) 平成22年10月29日